



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 杉田エース株式会社

コード番号 7635 URL http://www.sugita-ace.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 裕介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートスタッフ部門長 (氏名) 横井 雅彦 TEL 03-3633-5150

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,664	-	△67	-	54	-	49	-
25年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 109百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	9.26	-
25年3月期第2四半期	-	-

(注) 平成25年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の数値および前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	23,573	7,261	30.8	1,353.23
25年3月期	25,925	7,291	28.0	1,350.68

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,261百万円 25年3月期 7,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	18.00	18.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,254	9.5	882	34.8	984	23.2	576	5.3	107.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
（注）特定子会社の異動には該当いたしません。ヨネミツエース株式会社を当第2四半期より連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	5,374,000株	25年3月期	5,374,000株
26年3月期2Q	7,687株	25年3月期	7,687株
26年3月期2Q	5,366,313株	25年3月期2Q	5,367,111株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想の見直し等の記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

平成25年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析の記載は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日銀による財政・金融政策への期待感から、円安・株高を背景に、景気は緩やかな回復に向かいました。一方、海外景気の下振れや、輸入原材料、エネルギーコストの上昇などによる景気減速懸念も払拭できず、依然として予断を許さない状況が続きました。

住宅建設業界におきましては、景況感の改善により、住宅着工戸数、マンション販売戸数ともに持ち直しの動きが見られ、比較的堅調に推移しました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高は21,664百万円となり、経常利益は54百万円、四半期純利益は49百万円となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

商品区分	ルート事業	エンジニアリング事業	直需事業	計	構成比
住宅用資材(百万円)	8,835	507	—	9,342	43.1%
ビル用資材(百万円)	8,199	937	—	9,137	42.2%
D I Y商品(百万円)	—	—	1,578	1,578	7.3%
O E M関連資材(百万円)	—	—	608	608	2.8%
その他(百万円)	857	140	—	998	4.6%
合計(百万円)	17,893	1,585	2,186	21,664	100.0%

① ルート事業(住宅用資材・ビル用資材・その他)

住宅用資材は、錠前・丁番・ドアクローザ等が伸長した建具商品、物干金物及び換気口関連商品が伸長したマンション住宅商品、土のう及び金属材料等が伸長した建設副資材がそれぞれ好調に推移し、売上高は8,835百万円となりました。

ビル用資材は、点検口商品及び防災商品等が伸長したビル用商品、階段廻り商品が伸長した福祉商品、サイン関連商品及びエクステリア商品が伸長した景観商品がそれぞれ好調に推移し、売上高は8,199百万円となりました。

この結果、ルート事業全体の売上高は17,893百万円となりました。

② エンジニアリング事業(住宅用資材・ビル用資材・その他)

住宅用資材は、物干金物及びタラップ関連商品が伸長したマンション住宅用商品は堅調に推移しましたが、建具商品、インテリア商品及び建設副資材が低調に推移し、売上高は507百万円となりました。

ビル用資材は、階段廻り商品が伸長した福祉商品、エクステリア商品が好調であった景観商品がそれぞれ伸長しましたが、屋上ベランダ廻り商品等が減少したビル用商品が低調に推移し、売上高は937百万円となりました。

この結果、エンジニアリング事業全体の売上高は1,585百万円となりました。

③ 直需事業(D I Y商品・O E M関連資材)

D I Y商品は、網戸を中心とした季節商品が伸び悩みましたが、建築金物を主力に販売するショップ向けの住宅金物、設備金物の売上が好調に推移し、売上高は1,578百万円となりました。

O E M関連資材は、材料販売、指定施設商品が順調に推移し、売上高は608百万円となりました。

この結果、直需事業全体の売上高は2,186百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は23,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ△2,352百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が△3,281百万円減少したことによります。

総負債は16,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ△2,322百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が△2,602百万円減少したことによります。

純資産は7,261百万円となり、前連結会計年度末に比べ△29百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金が△46百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,835	2,227
受取手形及び売掛金	15,239	11,957
たな卸資産	2,115	2,171
その他	1,489	1,342
貸倒引当金	△47	△31
流動資産合計	20,632	17,667
固定資産		
有形固定資産	3,792	3,961
無形固定資産	117	110
投資その他の資産	1,384	1,834
固定資産合計	5,293	5,906
資産合計	25,925	23,573
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,200	12,597
1年内返済予定の長期借入金	527	715
未払法人税等	379	35
引当金	26	13
その他	757	688
流動負債合計	16,890	14,050
固定負債		
長期借入金	873	1,380
退職給付引当金	387	396
役員退職慰労引当金	396	390
その他	85	94
固定負債合計	1,743	2,261
負債合計	18,634	16,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	6,131	6,084
自己株式	△3	△3
株主資本合計	7,234	7,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	74
その他の包括利益累計額合計	13	74
少数株主持分	43	0
純資産合計	7,291	7,261
負債純資産合計	25,925	23,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	21,664
売上原価	18,532
売上総利益	3,132
販売費及び一般管理費	3,199
営業損失(△)	△67
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	5
仕入割引	50
投資事業組合運用益	57
その他	24
営業外収益合計	139
営業外費用	
支払利息	10
手形売却損	6
その他	1
営業外費用合計	17
経常利益	54
特別利益	
負ののれん発生益	58
特別利益合計	58
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	113
法人税、住民税及び事業税	33
法人税等調整額	30
法人税等合計	64
少数株主損益調整前四半期純利益	49
少数株主損失(△)	△0
四半期純利益	49

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	60
その他の包括利益合計	60
四半期包括利益	109
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	110
少数株主に係る四半期包括利益	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	113
減価償却費	84
投資事業組合運用損益(△は益)	△57
負ののれん発生益	△58
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2
固定資産除売却損益(△は益)	0
受取利息及び受取配当金	△7
支払利息	10
売上債権の増減額(△は増加)	3,413
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58
未収入金の増減額(△は増加)	131
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,639
その他の資産の増減額(△は増加)	△18
その他の負債の増減額(△は減少)	△71
小計	784
利息及び配当金の受取額	7
利息の支払額	△10
法人税等の支払額	△377
営業活動によるキャッシュ・フロー	404
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の純増減額(△は増加)	△99
有形及び無形固定資産の取得による支出	△151
投資有価証券の取得による支出	△228
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△192
子会社株式の取得による支出	△36
貸付けによる支出	△2
貸付金の回収による収入	2
その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△709
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,000
長期借入金の返済による支出	△305
配当金の支払額	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	597
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	292
現金及び現金同等物の期首残高	1,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント(百万円)			合計(百万円)
	ルート事業	エンジニアリング事業	直需事業	
売上高				
外部顧客への売上高	17,893	1,585	2,186	21,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	100	—	—	100
計	17,993	1,585	2,186	21,764
セグメント利益	363	63	70	498

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	498
全社費用(注)	565
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△67

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ルート事業」セグメントにおいて、ヨネミツエース株式会社(平成25年7月1日ヨネミツ産業株式会社より商号変更)の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。企業結合時において、同社の資産・負債の時価を再評価した結果、負ののれんが合計で53百万円発生し、当第2四半期連結累計期間において特別利益(負ののれん発生益)に計上しております。

(重要な後発事象)

連結子会社同士の合併

- (1) 結合当事企業または対象となった事業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的

①結合対象企業または対象となった事業の名称及びその事業の内容

イ. 結合企業

名称：トクダエース株式会社

事業の内容：建築金物・建築資材の卸売

ロ. 被結合企業

名称：マシモエース株式会社

事業の内容：建築金物・建築資材の卸売

②企業結合日

平成25年10月1日

③企業結合の法的形式

トクダエース株式会社を存続会社とし、マシモエース株式会社を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

トクダマシモエース株式会社

⑤取引の目的

子会社2社の経営資源を集中させ、経営の一層の合理化・効率化を図るものであります。

(2) 会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行う予定であります。